

水道料金・下水道等使用料改定に伴う市民説明会

・開催結果一覧

開催日	開催時間	開催場所	参加人数
令和7年6月15日（日）	A M	武蔵台公民館	5名
令和7年6月22日（日）	A M	高萩公民館	5名
令和7年6月22日（日）	P M	生涯学習センター	2名
計			12名

・質疑応答要旨

会場名 ※個人名は伏せています。	質問内容	回答
武蔵台公民館	【下水】継続的な値上げの予定はありますか。	今回は令和7年から令和10年の収支見込を基に料金改定率を算定しています。次の令和11年から令和14年の収支見込みを作成する際に経営状況に応じて検討します。
武蔵台公民館	【共通】上下水道事業運営審議会の委員の改選はいつですか。 【共通】上下水道運営審議会では、利用される市民の意見が出るようにすることを望みます。1人1人が生活していくうえで欠かせないインフラである上下水道料金が上がることには反対です。 【水道】日高市水道ビジョンの基本理念としている「笑顔と元気を支える安心 いっぱいの水道」の意味を教えてください。	令和7年6月30日に現在の委員の任期が終了するため、新たな委員の任期は令和7年7月1日から2年間となります。 必要な更新工事を行わないと水道の安定供給と下水処理ができなくなり、最終的には市民の方にご迷惑をかけるということになります。経営状況において、使用料の改定が必要な際にはお願いをすることになります。今後も上下水道を維持していかなければならないため、どうかご理解いただきたいと思います。 安心安全な水をお配りして、皆さんの健康を推進していくという意味を込めてこのような基本理念としております。
高萩公民館	【下水】排水管等の長期的なロードマップのようなものは作成してありますか。また、それを提示できますか。 【下水】料金改定による収益予測はどのようになっていますか。	下水道は供用開始から36年を経過しており、下水道管の耐用年数は50年であることから、現在のところ、ロードマップは作成しておりません。しかしながら、八潮市の道路陥没事故を鑑み、耐用年数を経過する前の調査実施を念頭に置き、今後、更新計画を作成したいと考えております。 本来は43%の料金改定が必要と試算しましたが、市民生活への影響を考慮し、30%の料金改定としました。これにより、独立採算制には近づきますが、一般会計からの補助金を減らすことができるという状況にとどまっています。今回は令和7年から令和10年の収支見込を基に料金改定率を算定し、次の令和11年から令和14年の収支見込みを作成する際に経営状況に応じて再度の料金改定の要否を検討します。

会場名 ※個人名は伏せています。	質問内容	回答
高萩公民館	【下水】下水道を使っていない人というのはどのような人ですか。 【共通】経営の効率化を図るため、職員を何人から何人減らしましたか。	主に市街化調整区域にお住まいで浄化槽により汚水処理をしている方です。 下水道事業は直近の料金改定を行った平成15年には職員が16名いました。現在は11名となっており、5名減っています。水道事業は平成10年までは24名いましたが、現在は16名で8名減っています。
高萩公民館	【水道】水道を使っていない人というのは、どのような人のことでしょうか。	井戸水等で生活をされている方などが該当となりますが、水道の普及率は99.9%のため、ほとんどの皆様にお使いいただいている状況です。
生涯学習センター	【水道】検針方法について、電波等を用いた方法はなぜ採用していないのですか。 【水道】こま川団地建設当時は、水不足により坂戸市から高い水を買っていたと認識しているが、現在は県から買っているのですか。 【水道】近隣の市町での料金改定の状況について教えてください。 【下水】下水道管はまだ15年くらい大丈夫ということでしょうか。	検針するメーターの情報を電波で飛ばす方法については、スマートメーターと呼ばれており、大都市などで導入の実績があります。初期投資が高額となることから、費用対効果等を検討していく必要があると考えています。 一時的に不足が生じた時代のお話しかと思われます。現在は、5割を少し超える程度の県水を受水しています。一番の大きな目的は安定的な水の供給のため、県水を一定割合受水しています。 新聞報道等でもありますが、50%の値上げを予定している市もあり、値上げの動きが多く見られます。令和6年度につきましては、7つの自治体が料金値上げをしている状況です。 耐用年数は約50年で供用開始から36年を経過しているため、あと15年くらいは大丈夫だと考えています。ただ、八潮市の事故につきましては、下水道管の耐用年数を経過していなかった管渠であったので、耐用年数経過前の管渠についても点検を行う必要があると考えます。

会場名 ※個人名は伏せています。	質問内容	回答
生涯学習センター	【水道】 県水の割合を減らし、市水の割合を増やすことはできませんか。 【共通】 人口減少に伴い、今後の水道料金及び下水道使用料の収支見込はどのようになりますか。 【水道】 国の重点支援交付金を上下水道料金の基本料金の減免に使う予定はありますか。 【水道】 地下水が減少してるため、県水を増やしているということでしょうか。 【水道】 県水受水割合の判断基準はどのように設定していますか。 【水道】 横手ポンプ場の送水ポンプの更新工事は、今まで使っていた物を新しくするというのでしょうか。	取水場で取り込める自己水の量が年々減少しております。また、水の安定供給の観点から自己水のみでは万が一、水源に事故が発生した際に皆様へ水の供給ができなくなってしまうことから、県水の利用を継続していきたいと考えています。 人口減少はしていますが、戸数は増えているという状況です。内訳としては、単身世帯が増えていると考えられますので、水道水の使用量につきましては減少の見込みとなっています。つきましては、使用量が少なくなりますので、水道料金は減少傾向と考えています。 令和4年と令和5年に国からのコロナ等の補助金を使い、基本料金を4か月分免除しましたが、今後の予定はありません。 50%程度の県水受水を継続しています。 取水場で取り込める自己水の量と皆様へお配りする水の不足分を県水として受水しています。 はい。40年くらい使用したため、新しくするものです。

・ご意見

会場名 ※個人名は伏せています。	内容
武蔵台公民館	下水道については、地形的な問題や単独処理の影響により、処理効率が悪い状況であるため、住民が負担を負うのは仕方ないが、より効率的な経営を目指してもらいたい。また、上・下水道については、起債を工事の財源としていることから、今後の金利負担についても注意してもらいたい。
生涯学習センター	小・中学校の統合により、プール施設などが減少し、水道の使用量が減るので、代替的な大口利用が欲しいところであると思われる。